

事務事業評価表(既存事業)

コード 6-3-2	事務事業名 ささえあいネットワーク事業	所管部課 保健福祉部高齢福祉課
--------------	------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 高齢者が地域で安心して生活していられるよう住民、市、関係機関が連携し、高齢者や介護者の相談、緊急事態などに適切かつ速やかに対応する仕組みを作る	総合計画上の位置づけ (政策)笑顔で暮らすまちづくり (施策)高齢者福祉の充実 (主要施策)高齢者地域見守りネットワーク機能の拡充
	実施内容、実施方法 団体、市民等に対し、高齢者の見守りを行うために協力を求め、地域における支援体制を構築する。日常生活の中で高齢者の安否の確認の他、実態に異常があると認めるときは、民生委員、在宅介護支援センター、市役所に連絡するものとする。	根拠法令等 西東京市高齢者地域見守りネットワーク事業実施要綱
	事業開始時期 平成 14 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

評価指標の設定	活動指標名 懇話会の開催数	活動指標の考え方(定義) 民生委員や在宅介護支援センターとの連携を図るための懇話会。
	成果指標名 係わった高齢者数	成果指標の考え方(定義) 協力員、協力団体より連絡のあった高齢者の件数

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度
事務事業データ	事業費(A)		5,521	1,568	1,915	1,941
	国庫支出金	千円				
	都支出金		1,915	775	957	970
	地方債					
	その他					
	一般財源		3,606	793	958	971
	所要人員(B)	人	0.80	0.80	0.80	0.80
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	6,597	6,618	6,662	6,662
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	12,118	8,186	8,577	8,603
	単位当たりコスト (E)=(D)/(懇話会開催数)	千円	0	0	259.92	
歳入	千円					
活動指標	目標値	回			50	100
	実績値	回	0	0	33	
活動指標	目標値					
	実績値					
成果指標	目標値	人				320
	実績値	人			182	
成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	知名度が低いので、もっとPRして欲しい。(一部の協力員より)もっと積極的に活動をしたい。ふれあいのまちづくりとどのように違うのか。
	国・都・他市・民間等 における類似事業	東京都26市においても、ほとんどの自治体で高齢者見守りネットワーク事業を行っている。
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 6-3-2	事務事業名 ささえあいネットワーク事業	所管部課 保健福祉部高齢福祉課
--------------	------------------------	--------------------

	項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績	<input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	協力員、協力団体の数が増えており、徐々に地域の高齢者からの相談をささえあいネットワーク協力員が聞き、在宅介護支援センターに繋げてサービスに繋がる高齢者が増えてきたがまだまだ高齢者に知名度が低い点が問題である。
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	高齢化が進むにつれて、対象となる高齢者の人数は必然的に多くなっていく。都市化が進み、コミュニティーの希薄化・核家族化による一人暮らしの高齢者の増加による、孤独死は避けられない問題があるが、行政だけではこの問題を解決することは困難である。
	効率性	<input type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	積極的に活動したいという協力員には、お願いしたいところではあるが、その声に答えきれていない。積極的な活動の範囲や管理に関して不明確。
	公平性	<input type="checkbox"/> より充実 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	まだまだPRが弱く、ささえあいネットワークの知名度が低く利用者が増えていないこと、協力員・協力団体の認識に温度差があるためなかなか機能出来ていない。対象者については、概ね65歳以上の高齢者であるが、知名度が低いため中々利用者が増えない、また、利便性についても何をしてもらえるのか明確ではない。
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	ささえあいネットワークがまだ浸透されてなく、また、協力員の教育が進められず活動があまり進んでいない。

17年度における改善点	積極的に活動したい協力員と見守りだけを希望する協力員といるので、その協力員のすみわけと、研修による活動のスキルアップをはかる。
-------------	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。